

乳製品で元気になろう!



酪農とちぎ那須地域酪農組合様から町内小中学校児童生徒および教職員1,450人分のヨーグルトと牛乳消費拡大のグッズを寄贈いただきました。那須中学校では3月18日の給食で提供され、大きくて食べ応えのあるヨーグルトに生徒たちは大満足の様子でした。

持続的な農業経営を守る



左から、人見二三夫専務理事、平山町長

町は農業者の経営努力では避けられない自然災害や価格低下等で収入が減少した場合に補てんを行う「収入保険制度」への加入に係る補助金制度を令和3年4月に創設しました。これに対し、3月23日、全国農業共済組合連合会から感謝状をいただきました。(町長室)

「Nasuを拓く」 那須町を知ろう!



那須高等学校では、那須地域に住む人への取材や公民館活動などを行い、那須の特色を学び、地域の方々と交流を深めてきました。3月17日、体育館に6ブースを設け、1、2年生による合同発表会を行いました。

発表を終え渡邊愛成さんは、「公民館活動は、草むしりなど大変なことも多かったが、地域の方々と交流はそれを忘れるくらい楽しく、大きな達成感を得る経験だった」と話してくれました。

14歳の決意表明 立志式を開催



3月3日、那須中学校で立志式が開催されました。

式典では、榎雅宏校長から、満14歳の春を迎えた2学年の生徒73人へ激励の言葉が送られました。その後、生徒代表の長岡拓実さん(左)と碓村凜太郎さん(右)の2人が誓いの言葉を読み上げ、これから大人へと成長していくにあたっての志を決めました。

ご卒業・ご卒園 おめでとうございます

町内では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のもと、中学校卒業式が3月10日、保育園修了式が17日、小学校卒業式が18日に行われ、中学生150人、小学生148人、保育園児109人が新たな門出を迎えました。思い出が詰まった校舎、園舎に別れを告げ、新たな一歩を踏み出しました。

3月17日、大同保育園で同園としては最後となる第50回修了式が行われ、ひまわり組18名が保育修了を迎えました。渡邊美琴ちゃんは、斎藤桂子園長から保育証書を受け取り、その後お母さんに大きな声でありがとうと言いながら(写真右)、保育証書とお母さんの似顔絵などを書いた色紙を渡しました。



おおたけまさき
大嶽昌城さんが、「たくさんの思い出や経験、強い絆で結ばれた仲間という宝物を得て、3年間を過ごすことができた」と、声を詰まらせながら答辞を述べました(那須中央)



真新しい制服にそでを通し、元気いっぱい卒業証書を受け取りました(黒田原小)



ありがとうの気持ちをたくさん伝えることができました(大同保育園)